

一問一答
拡張整備を行った四谷さくら公園
 改善を求める声に対する
 今後の市の対応は

維持管理や注意喚起を行うほか
公園利用者のマナー向上を
図っていきたい

赤野 秀一 議員(共産) 拡張整備を行った四谷さくら公園については、近隣住民からプライバシー面や騒音などで新たな問題が発生しているとの声がある。そこで、近隣住民からの相談内容と市がこれまで実施した対策を聞きたい。**都市整備部長** 相談内容については、公園利用者の声や音がうるさいこと、目隠し用の植栽の隙間から家の中が見られてしまうこと等がある。対策については、早朝及び

このような状況下にこそ、誰も置き去りにしないまちの現実を、努めていまいちく

前川 浩子 議員(市友) 新型コロナウイルス感染症拡大により、国内においても企業の倒産や失業等で日々の暮らしを脅かされている人が急激に増えている。そこで、困難に直面する人たちの暮らしと命を守るための市の考えは、**市長** 非正規雇用の方を中心に、収入の大幅な減少や失業を経験した方も多いと認識しているため、このような状況下にこそ、対象者を限定しない、断らない相談を行い、必要な支援につなげることで、



▲四谷さくら公園

深夜の近隣への迷惑行為などを控えるよう記載した看板の設置を行っている。**議員** 公園は住宅に近接して拡張されているため、今後も改善を求める声に真摯に向き合っており、今後の市の対応は、**都市整備部長** 当面は、近隣住民などからの要望や相談に適切に対応していく中で、維持管理や注意喚起を行うほか、職員によるパトロール等を通じて、公園利用者のマナー向上を図っていきたい。

常任委員会の審査報告から

総務委員会
 第67号議案
 府中市基金条例の一部を改正する条例
 この議案は、新型コロナウイルス感染症に起因する地域課題の解決に資する事業の財源に充てるため、令和3年度限りの時限的な基金として新型コロナウイルス感染症対策基金を新設するもの
 質疑に対して、「原則的には一時的なものとしており、4年度以降は通常の予算での対応を目指している」「必要があれば、2年度と同様に、緊急対策として財政調整基金の活用もあり得る」等の答弁があった。
 委員から、「新型コロナウイルス感染症対策基金のみで不足する場合は、財政調整基金を活用してほしい」等の意見があった。
 審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

厚生委員会
 第69号議案
 府中市市税条例の一部を改正する条例
 この議案は、地方税法等の一部が改正されたことに伴い、先端設備等の特例措置の拡充や軽自動車税環境性能割の臨時的軽減措置の延長などに伴い、所要の改正を行うもの
 主な改正内容として、「先端設備等に該当する家屋等に対する固定資産税の課税標準の特例割合について、課税標準に乘じる割合をゼロにする」「軽自動車税の環境性能割について、特例措置の適用期限を令和3年3月31日まで延長する」等の説明があった。
 質疑に対して、「軽自動車税の臨時的軽減措置の延長に対する2年度の影響額は、約360万円の想定である」等の答弁があった。
 審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

文教委員会
 第71号議案
 府中市郷土の森博物館本館常設展示室等天井改修工事請負契約
 この議案は、府中市南町6丁目32番地において、郷土の森博物館本館常設展示室等天井改修工事を施工するもの
 主な内容として、「常設展示室及び企画展示室の天井については、建築基準法に定める特定天井に該当しているため、改修し、耐震化を図る計画としている」等の説明があった。
 質疑に対して、「休館期間については、令和2年10月から4年3月31日までとしている」「特定天井に該当する残りの公共施設については、府中の森芸術劇場及びルミエール府中と把握している」等の答弁があった。
 審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

建設環境委員会
 第81号議案
 令和元年度府中市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
 本決算の総額は、歳入34億9107万5000円で執行率95・1%、歳出29億7145万3000円で執行率81%となっている。
 歳入の主なものは、下水道使用料及び一般会計からの繰入金で、下水道使用料は現年度分が延べ154万2379件分、過年度分は1万6666件となっている。歳出の主なものは、下水道費と基金積立金となっている。
 質疑に対して、「老朽化対策事業の進捗率については、令和3年度末までの目標値に対し、58・9%程度となっている」等の答弁があった。
 審査の結果、本案については、全員異議なく、認定すべきものと決定した。

特別委員会の中間報告から

基地等跡地対策特別委員会
 調布基地跡地の状況について、都から令和2年9月4日までとっていた調布飛行場の誘導路整備工事の工期を3年2月20日まで延伸するとの報告があった。
 府中基地跡地留保地の状況について、同留保地の利用計画に基づき土地利用を実現するため、周辺地域を含めた一体的なまちづくりが必要であることから、都の多摩イノベーション創出まちづくり検討支援モデル事業に応募した結果、選定された。
 また、米軍通信施設について、留保地の土地利用に伴う施設の返還を求める要望書を都へ提出し、同じ趣旨の要望書を都から受けた国からは、返還及び返還がされるまでの共同利用について、引き続き調整を行っていきたいとの回答があったなどの報告があり、これを了承した。

学校施設老朽化対策特別委員会
 早期改築着手校である第八小学校の周辺道路の整備等について、学校北側の市道に隣接する用地を取得し、新小金井街道へ接続する道路を新設するとともに、新たに学校北側に門を設けて車両の動線を確保し、児童及び周辺住民の動線と分離することで、それぞれが安全に通行できるようにする。

市庁舎建設特別委員会
 「おもや」の建設に向けた準備工事である地中障害撤去工事等について、西庁舎北側部分は令和2年8月末で完了した。
 市新庁舎建設修正設計の概要について、敷地周辺道路の電線類地中化等に伴い、新庁舎の敷地の一部を後退して、道路を拡幅するため、敷地面積が減少するなどの変更があった。
 施工者選定に関する状況について、市新庁舎建設施工者選定委員会を2年7月と8月に開催し、募集要項・評価基準を同委員会として決定し、評価手順の審議を行っている。
 また、3年1月には、技術提案等に対する同委員会としての最終的な評価をいただきたいと考えているなどの報告があり、これを了承した。

公契約関係競売入札妨害事件に係る再発防止対策特別委員会
 設置目的について、本市議会議員が公契約関係競売入札妨害事件により逮捕・起訴されたことを重く受け止めて、市議会として再発防止策を取りまとめ、市民に対する市議会の信頼回復を図ることとする。
 運営等について、市長部局の主管部は定めず、必要に応じて出席と説明を求める形式とする。今後の進め方については、議会開会中における開催は、一般質問の3日目の午後とし、議会閉会中においては、毎月1回、上旬での開催を予定している。
 また、令和2年度末までに今後の取組の方向性を取りまとめ、いきたいなどの報告があり、これを了承するとともに、議会閉会中における継続審査とした。